

小さくてもキラリと光る美濃病院へ



4月1日から新しく阪本研一医師（医学博士、日本内視鏡外科学会評議員、日本肝胆膵外科学会評議員、日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器病学会専門医）が院長に就任しました。

美濃病院

院長就任のご挨拶

阪本 研一



私は、美濃病院が一昨年6月の移転する直前、移転後の外科立ち上げのために岐阜大学第1外科より赴任しました。

同第1外科には心臓血管・肺・消化器一般の3グループがあります。私は各グループで研修し教施設で勤務しました。その後第1外科の講師となり、消化器一般グループのリーダーとして手術を執刀しつつ、後輩外科医の手術指導、学生教育、学術活動を行ってきました。

美濃病院の移転事業に参加することになったわけですが、このように私が院長を引き受けさせていただいたのは、美濃病院の将来に大きな可能性を感じるからです。

世の中はすでに「大きいことはいいことだ」と考える時代ではなくなりませんが、医療界にはいまだに「大病院（総合病院）

志向」が残っています。医療技術の発達により医療水準と病院規模は必ずしも比例しなくなり、個々の医師の医療水準が大切になってきました。しかし、そういった情報は患者様には分かりにくいために大病院志向が依然として続き、さまざまな弊害を起しているわけです。

私のみならず大病院で働いた経験をもつ多くの医師が、それを強く肌で感じています。私が出会った新美濃病院は、県内では他に類をみない環境に恵まれた贅沢な造りの施設でした。小規模であるからこそ良質な医療を展開しやすいと感じました。何よりも病院移転をきっかけに医療水準の充実した医師たちが集まってきていることに大きな魅力を感じています。

このような美濃病院の魅力が、地元の皆さんにわかっていただけではないことを、とてももったいなく感じています。優れた医療水準を提供できる診療分野を備えながらも、情報不足により皆様に満足していただけないのでは、公立病院としての存在価値はなくなってしまいます。

これからは、市民の皆様方に役立つ情報、美濃病院の魅力など、いろんな情報をどんどん発信していきたいと考えています。美濃病院は、

- 1、特化した診療分野で高水準な医療を提供する
- 2、地元に着目した地域医療を展開する

の2つの方向性のもと「選ばれた病院」を目指していきます。糖尿病を中心とした生活習慣病、消化器疾患を中心とした一般外科手術、整形外科疾患の手術を中心とした治療の3分野では、中濃地区のみならずもっと広域に医療を展開していきます。最近の外科と整形外科には、岐阜市内をはじめ中濃地区以外の遠方からわざわざ手術を受けにこられる患者様が増えてきています。

充実した外来体制をつくること、地域の開業医と連携し地域ぐるみで医療を展開すること、大学病院との連携体制を密にすることで地域医療を展開していきます。

美濃病院は「小さくてもキラリと光る病院」をめざします。市民の皆様には温かくも厳しい目で、美濃病院を育ててくださるようお願い申し上げます。

美濃病院は、休日・夜間も急患の診療をしています。※病气やけがによっては当直医が専門外の場合がありますのでご確認ください。美濃病院 ☎ 033 12221